

## 野草観察

### オオマツヨイグサの開花過程

この時期、数多くの野草が美しい花を見せてくれています。

オオマツヨイグサの開花過程を紹介いたします。オオマツヨイグサは、北アメリカ原産の帰化植物です。

観察日時は6月2日 17:30~19:45、場所は都立木場公園内にある帰化植物見本園です。当日の天候は晴れ、日の入り時刻は 18:52 でした。

写真1 ①に焦点を当てての撮影ですが、②、③についても着目してください。下方の萎んでいる花は、昨夜に開花したものです。

①を選んだ理由は、①~③の中でつぼみの膨らみが最も大きく、一番早く満開になると予想したためです。さてその結果は…。

写真2 日の入り時刻前までは目立つような大きな変化は認められませんでした。



写真3 日の入り後、右上の花③が開花を始めました。

写真4 更にその2分後頃から、左上の花②も開き始めました。見事に開花予想は外れました。しかしながら、観察時間が長くなり、開花中における花相互のちょっとしたトラブルらしきものを知ることが出来ました。

3



4



写真5 焦点にしていた花①も花びらの開きが目立つようになってきました。この頃から満開状態に近づく約 15 分間は、目に見える速さで花びらが開くので迫力があり、非常に感動的でした。

写真6 ①の花びらは、満開状態になった②の花びらとの接触で、何となく窮屈そうに開いているように見えました。

5



6



写真7 19:30頃、ほぼ満開状態になり、直径は6 cmほどでした。

写真8 他の花と接触することなく満開を迎えた、別株の花です (19:45頃の撮影)。直径は7 cmほどありました。



この夜間撮影は、都立木場公園管理者から時間外立入り許可を得て行ったものです。